あなたと町を結ぶ情報誌

紀宝町

議会だより

第50号

令和元年 12月 1日 発行

議会日誌

令和元年 7月～9月

7月 1日 国道169号奥瀞道路Ⅲ期事業促進協議会総会(北山村)
2日 熊野川改修促進期成同盟会理事会・総会（新宮市）
3日 一般国道169号土場バイパス開通式（熊野市）
4日 紀宝町保健対策協議会
6日 熊野古道世界遺産登録15周年
「高野・熊野夢舞台」コンサート（新宮市）
7日 熊野古道世界遺産登録15周年
キックオフイベント（尾鷲市）
12日 三重県町村議会議長会理事会（津市）
熊野川河口に橋を架ける会要望活動（大阪市他）
17日 国道169号線改良促進連絡協議会要望活動(東京都)
熊野川流域対策連合会理事会・総会（新宮市）
18日 全国森林環境税創設促進議員連盟第26回定期総会
（田辺市）
19日 熊野・南郡正副議長会（御浜町）
22日 地方創生まちづくり特別委員会
熊野川流域ダム湖下流団体協議会定期総会(新宮市)
27日 第15回中能登町祭「織姫夏ものがたり」
（石川県中能登町）
31日 三重県町村議会議長会定期総会並びに自治研修会(津市)

8月 1日 熊野川河口に橋を架ける会要望活動
東京都他）（～2日まで）
5日 議会運営委員会
第3回紀宝町議会臨時会
9日 熊野尾鷲道路Ⅱ期工事視察（尾鷲市）
16日 第13回紀宝町花火大会
19日 紀南環境衛生施設事務組合議会定例会（新宮市）
20日 熊野川河口に橋を架ける会要望活動（名古屋市）
21日 ごみ処理施設先進地視察（四日市市、滋賀県近江八幡市）
22日 ごみ処理施設先進地視察（四日市市、滋賀県近江八幡市）
27日 三重県町村議会議長会県外視察（岐阜県郡上市他）
28日 紀南介護保険広域連合議会定例会（熊野市）
29日 紀宝町子ども議会
30日 熊野・南郡正副議長会三重県知事要望（津市）
9日11日 議会運営委員会
18日 第3回紀宝町議会定例会・第1日目
19日 第3回紀宝町議会定例会・第2日目
20日 第3回紀宝町議会定例会・第3日目
26日 紀南病院組合議会定例会（御浜町）
南牟婁清掃施設組合議会定例会他（御浜町）

発行／紀宝町議会　三重県南牟婁郡紀宝町鵜殿324番地　編集／議会だより編集委員会（☎0735－33－0342）

9月定例会 一般質問（要約）

令和元年第3回紀宝町議会定例会は、9月18日に開会しました。

第1日目は、初めに、議長報告と各委員長報告、一部事務組合議会議員報告、広域連合議会議員報告を行い、続いて、町長から、第2回定例会以降の町行政各般にわたる報告がありました。その後、一般質問が行われ、第2日目の19日にわたり7人の議員が質問に立ち、諸課題について当局の取り組みと考え方を質しました。引き続き、議案審議に入り、第3日目の20日にわたり、条例の一部改正13件、令和元年度一般会計補正予算、特別会計補正予算（2会計）を原案どおり可決。続いて、平成30年度一般会計決算、並びに6つの特別会計決算の認定、人権擁護委員の推薦、工事請負契約の締結を承認し、閉会しました。

新宮紀宝道路

向井　健雅　議員

・新宮紀宝道路（近畿自動車道紀勢線）について
・第一次産業について（柑橘と稲作）

議員

まず新宮紀宝道路（近畿自動車道紀勢線）について、用地交渉の進捗は。

産業基盤整備担当理事

用地補償の進捗につきましては、地権者の皆様の多大なご理解とご協力を頂き、用地取得が進捗していると伺っております。8月30日現在の契約状況としまして、250筆中、242筆、96・8％の取得率であります。町といたしましても、今後も工事の進捗を踏まえ、国、県と連絡を密にし、取り組んでまいりたいと考えております。

議員

工事発注の状況については。

産業基盤整備担当理事

工事の進捗につきましては、新宮市域では、新宮紀宝道路新宮あけぼの地区改良工事、新宮紀宝道路熊野川河口大橋P1からP3下部工事が完成しております。次に新宮紀宝道路新宮地区改良工事として、熊野川にかかる河口大橋の和歌山県側の橋台1基の工事を現在、施工中であります。また、新宮紀宝道路熊野川河口大橋P1からP3上部工事が発注され、大成建設（株）が7月に契約をいたしております。現在、熊野川にかかる河口大橋の和歌山県側の橋梁上部工事を施工準備中とのことであります。紀宝町域につきましては新宮紀宝道路熊野川河口大橋P1からP3上部工事が完成し、新宮紀宝道路紀宝ランプ橋下部工事が完成し、新宮紀宝道路紀宝IC下部工事として、紀宝町成川地区鶴子橋付近のインターチェンジ橋の橋台1基の工事を現在、施工中であります。また、新宮紀宝道路熊野川河口大橋P4からP6下部工事が発注され、（株）大本組が8月に契約をしております。現在、熊野川にかかる河口大橋の三重県側の橋脚3基の工事を施工準備中というふうに伺っております。

議員

進捗状況については、まず1番に、地権者の絶大なるご協力の賜物だというふうに思っております。そして2番目に、当時県の緊縮財政という中で、こういう県のプロジェクトチームをつくっていただいたということでございます。そして3番目については、これは町の努力によってですね、全国に先駆けて事前調査をしていただいたということが、これまでの1年半ぐらいの期間で今説明をいただいた進捗になっているというふうに思っております。

第一次産業

向井　健雅　議員

・新宮紀宝道路（近畿自動車道紀勢線）について
・第一次産業について（柑橘と稲作）

議員

第一次産業についてでございますが、柑橘農家（専業）の現況は。

産業振興課長

柑橘農家の現況につきましては、全農家数225戸の内、119戸となっております。半数以上が専業農家となっており、2010年調査と比較しますと15戸減少しております。農業センサスでは生産品目別での経営者数がわかりませんので、町として把握しております認定農業者数では、柑橘で17名、水稲で12名、その他の生産者で3名となっております。

議員

前回も制度設計の在り方について質問をさせていただきましたが、その中で就農初期の支援として、年齢的にも対象者を45歳から50歳まで引き上げるなど、いろんな対策を講じられております。また制度設計の隙間についても町としても非常なる努力をしていただいて、今後とも引き続き、足りないところについては少しでも吸い上げていただくようお願いを申し上げたいと存じます。

次に、稲作農家の現況、専業と兼業の現状と今後の方向性については。

産業振興課長

水稲農家の専業と兼業の現状でありますが、近年の国の補助事業を見ますと専業農家が第一条件となっており、その他の要件といたしまして、規模拡大、コスト削減、新技術の導入など大規模専業農家向けが主であり、兼業だけでなく、小規模の専業農家が補助を受けられない状況にあります。町といたしましては、兼業農家、小規模専業農家を含めた全ての経営意欲がある担い手が補助を受けられるよう、国、県へ要望してまいりたいと考えております。

議員

水稲に関しては、大変悩ましいというか、生業としては大変難しい昨今でございます。今後それをどうしていくかという点については、今の制度の中で現状維持というのも大変重要でございますが、さらに努力・研究を農家と共にして頂きたいというふうに思っております。

鳥獣害の現状と対策

萩野　進也　議員

・鳥獣害の現状と対策について
・飛雪の滝キャンプ場の健全運営と5年後、10年後のあるべき姿について

議員

鳥獣害の現状と対策について、紀宝町で鳥害として問題になるのはスズメ、メジロ、ヒヨドリ、イソヒヨ、カラス、そしてカワウです。スズメは実った稲穂を食害します。メジロは出荷期のみかんを食害します。メジロは小さなくちばしですので、ちょこんと突いたキズが後から腐敗してくるのがすごく問題になります。これも大変やっかいな問題なんです。ヒヨドリは、みかんや、柿、ぶどう等の果物、そして野菜も被害を受けます。イソヒヨは近年急激に内陸部のみかん畑などで見られるようになり、みかんに被害が出ています。カワウは稚鮎が遡上する時期、食害による相当な被害があります。カラスは鳥害の中では一番被害が大きく、みかんやスイカ、野菜など目に余るものがあります。そこでお伺いいたします。鳥害について、どのように認識されていますか。

産業振興課長

鳥による被害につきましては、中晩柑類の生産者からヒヨドリによる被害が報告されております。今後それぞれの鳥に対する対策につきましては、被害状況等の情報を収集し、国や県から出される支援策と照らし合わせ検討してまいりたいと考えております。

議員

被害を受けている方々は過去の経験を踏まえて一生懸命あれこれと守っています。しかしそれでもなおかつ、おっつかないことが多々あるんです。そういうことを踏まえて、よろしくお願いいたします。

次に、獣害についてお伺いいたします。獣害としてはアライグマ、シカ、サル、イノシシの害が深刻な問題であります。アライグマはスイカやメロン、トウモロコシが被害に遭います。シカはミカン類の葉や、植林した幼木が食害に遭います。サルの害は幅が広く、実をつけるものはミカンを始め、ほとんどのものが被害の対象になります。サルの被害に遭わないものはレモンと梅だけです。その他、シイタケや稲も害を受けます。イノシシは、みかん類を始め、稲や竹の子、芋類や野菜全般、そして一番始末に負えないのが畑や田んぼ、そのものが荒らされることです。アライグマの被害について、どのように認識されていますか。

産業振興課長

アライグマの被害に対しては、菜園等に被害をもたらしており、また住宅地付近で多数の目撃情報があり、この状況を踏まえ、町としてもアライグマ等、他ハクビシン、アナグマ等を対象とした小型檻の無料貸出を行っている状況

であります。

議員
シカの被害については。

産業振興課長
シカの被害につきましては、もともとは山間部を中心に被害が発生していたところでありますけど。近年では井田地区等でも見られますように、住宅地付近でも目撃情報が出されております。シカにつきましては、新芽等を食い荒らされたりしている状況であります。シカの対策といたしましては、複合柵の設置等、支援を行わせていただいているところであります。

議員
サルの被害については。

産業振興課長
サルの被害対策につきましては、こちらも複合柵の購入の支援、追い払いの花火の補助等を行っている状況であります。大型捕獲檻を購入いたしまして、現在その大型捕獲檻を井田地区において設置をしている状況で、一定の効果が出ているのかなというふうに考えております。

議員
イノシシの被害については。

産業振興課長
イノシシの被害につきましても、近年では住宅地付近で目撃情報が多数寄せられております。農地については、今現在、電気柵3段で張っている電線の柵で被害対策を行っている状況であります。こちらについても資材の購入支援を行わせていただいているところであります。

議員
鳥獣害対策について、国の施策、町独自の施策で被害軽減に努めていることに敬意を表します。しかし、どのような対策も完璧なものはございません。都度、問題が発生した時は、被害の現場と連絡を密にしながら迅速に対処していただきますよう、よろしくお願いいたします。私は鳥獣害の対策について、何が何でも町にお願いするものでもないと思います。個人で対処できるものは個人ですべきなんです。しかしながら個人の力で対応するには、もう広すぎて大きすぎて、対応しきれないことが多々あるのも事実なんです。行政と現場は意思疎通を図って、迅速に対処していただくことをお願いします。

飛雪の滝キャンプ場

議員
飛雪の滝キャンプ場がオープンして1年が過ぎ、今後の運営については、稼働率等も全国平均を上回っていますが、決算の数字を見ると、結果的に赤字になっている。どのように捉えているのか。また、本年度の売上見込みは。

企画調整課長
初年度ということで経常的に発生しない支出があったことから、支出額が大きく膨らんだ要因となっております。本年度は、昨年度の合計収入を超えている状況で、今後の目標額につきましては、収入合計が1650万円ほどになってこようかと思います。

議員
5年後、10年後は、どのような運営形態にしていくのか。

企画調整課長
今後の組織形態ということでございますが、来年度については、指定管理者制度を活用した運営形態への移行を検討してまいりたいと考えております。

議員
飛雪の滝キャンプ場が成功するためにも、目標値をクリアできるよう頑張ってください。

原　章三　議員
・東紀州広域ごみ処理について
・幼児教育・保育の無償化について
他

東紀州広域ごみ処理

議員
尾鷲市は当初、建設予定地としていた2カ所については、指定管理者制度を活用した運営形態への移行を検討してまいりたいと考えております。

議員
飛雪の滝キャンプ場が成功するためにも、目標値をクリアできるよう頑張ってください。

議員
利用不可能として残り一カ所について検討を行い、11月中に市議会に示したいと発表しているが、あくまで尾鷲市、中電跡地の関係で進めていくのか。

環境衛生課長
この建設予定地につきましては尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町の5市町で締結しております基本合意書に基づき検討を行い、コンサルタントによる一次評価、プラントメーカーによる調査の結果、ボイラー架構、3号本館の既存構造物の利用は困難であると判断し、隣接の定期点検用地での施設検討を進めております。

議員
松阪市では専門委員会を設置し、経済性、安定性、安全性、循環型社会構築の4点について慎重に進めてきた経緯がある。
南海トラフ巨大地震が発生した場合、海抜4mのところでは盛り土をしても安全とは言えない。何故この中電跡地にこだわるのか。専門委員会などを検討しないのか。

環境衛生課長
予測される津波高が約11mとなっているため、今後予定しております、ごみ処理施設基本計画や運営アドバイザリー業務において、盛り土やピロティ構造物の浸水対策を含め、5市町で最善の方法を検討していきたいと考えております。

議員
ごみ処理の概要案では、尾鷲市の進める都市計画と並行して進めるとなっているが、切り離して単独で進めるべきではないか。

調整監
事業としては別個のものでありますが、尾鷲市の都市計画とリンクする部分も出てきます。都市計画が広域ごみ処理計画に支障になることはないと考えております。

幼児教育・保育の無償化

議員
幼児保育無償化については、保護者からも完全無償化を求めています。当町では、保育所では4千3百円の負担を実施することになっているが、なぜこうなったのか。

健康福祉担当理事
三重県では、19市町中、3市町が副食費の完全無償化を実施します。国の基本的な考え方である、食料費は実費徴収を行うことを基本に考えています。4千3百円については、実際の食料費の積算金額を上げています。

議員
年収360万円以下の世帯は無償で、少しでも超えれば4千3百円の負担になる。全国的には多くの市町で無償化、補助を実施予定である。財源はあるのだから実施すべきではないか。

健康福祉担当理事
国からの補助は臨時交付金の対象ですが、基本的には国の制度の中で、食材費は対象外と考えておりますのでご理解をお願いします。

議員
内閣府は、副食費の滞納家庭では、児童手当から差し引いても構わないとしている。これは児童の健やかな成長に資するとした本来の主旨に反するものだ。当町ではどう対応するのか。

健康福祉担当理事
当町では、低所得者、高所得者など、状況把握をした上で、支払っていただける対象者であるか確認をし、本人の合意を頂いた中で徴収をさせて頂いております。

宝寿園の移転

議員
宝寿園の移転要望については、これまでも求めてきました。近年は各地で大きな災害が発生、それに伴って特別養護老人ホームでも犠牲者がでています。耐用年数があるからでは済まされません。安心安全な場所への移転を真剣に検討すべきでないか。

健康福祉担当理事
一部事務組合からは現状施設の老朽化に伴う改修を最優先に行い、入所者等の需要等を踏まえ、中長期的な視点で関係市町と相談し、ご意見を頂きながら検討していきたいと聞いております。

ネオニコチノイド系農薬

議員
この農薬は1990年代に開発され、安全、無色環境保全型をうたい文句として、水稲、野菜、果実など広く使用されています。学校給食で提供しているレンゲ米でカメムシ殺虫剤スタークルが使用されており、ネオニコチノイド成分が10%含まれています。
しかしこの殺虫剤は、残留性が強く、アセチルコリンという受容体が媒介して神経伝達系統を錯乱させ、子どもの発達障害や引きこもりに影響しているといわれています。ヨーロッパでは既に禁止されていますが、日本では逆に規制が緩和されています。農薬の危険性についてどのように対応するのか。

産業振興課長
国では、平成30年6月8日に農薬取締法が一部改正されて再評価制度が導入され、その結果に基づき登録の取り消し等の対策もあるということです。今後県、JAとも連携し取り組んでいきたいと考えております。

教育課長
このネオニコチノイド系農薬については、国や県から指導のある検査項目の対象外となっています。今後関係機関のご指導を受け、調査研究を行っていきたいと考えております。

B型就労支援について

議員
今年5月、福祉の店アプローチで働いている方が、帰宅途中で転倒し骨折する事態が発生しました。普通なら社会保険が適用されるが、B型就労支援者の場合は対象外となっており、自己責任で対応しなければなりません。今日、障がい者の方の働き方改革が言われるなかで、補償が受けられる制度をつくるべきではないか。

健康福祉担当理事
B型就労支援施設福祉の店では、15人の方が働いています。作業中のけがについては、事業所で対応を行っておりますが、帰宅途中の事故については、保障がありません。安心安全な雇用体制の充実に向け、関係する社協とも協議を行い、検討していきたいと考えています。

会計年度任用職員制度について

議員
この制度発足に伴い、紀宝町での適用職員数はどうなっていますか。またフルタイム勤務者とパートタイムでは、社会保障、諸手当で雲泥の差が出てくる。これらを正職員並みにすることを求めます。

総務担当理事
嘱託職員36名、臨時職員及び非常勤職員が148名、その他短時間、代替で来てもらってる方が126名おります。勤務条件や諸手当については、現在、慎重に検討を進めております。

男女共同参画

獺越　幸雄　議員

・男女共同参画について
・難聴者への支援について
・人材育成について
他

議員
男女共同参画の推進について伺います。近年、働く女性の社会進出がめざましく進み、この地域でも大型バスや、また建設現場の女性の技士が数多く働く姿を見て、大変たくましく思います。本町でも消防団に女性の方が5名ほど入団されたと伺っております。本庁役場の中で働く女性の職員の比率、また女性管理職の比率を伺います。

総務担当理事
職員の男女比及び管理職の男女比についてでございますが、まず職員につきましては、本年4月1日現在の数字で、職員数が122名中　男性が76名、女性が46名であります。率で言いますと男性が62・3％、女性が37・7％となります。次に管理職についての男女の割合は、管理職19名中　男性が14名、女性が5名であります。率は男性が73・7％、女性が26・3％という状況でございます。

議員
国のほうでも大臣で女性を登用されています。ぜひ紀宝町でもそういう女性の幹部、重要な幹部を登用していただきたいと思います。町長そのへんで何か考えがないでしょうか。

町長
女性の社会参画というのは、今働き方改革を含めて、いろいろと課題になっております。これから人口減少が進んでいく社会において、女性の活躍というのも大いに期待をされるところでございます。これから町政をしっかりと担って、町民の期待に応えられるような管理職の登用等については、実務は当然でございますけれども、人からも信頼され、交渉能力も持ち合わせ、また包容力もあり、説明能力もしっかりとされた方を総合的に判断する中で進めてまいりたいというふうに思っております。

難聴者への支援

議員
加齢難聴者への支援について伺います。耳が遠くなり、補聴器がほしいが高くて買えない。こんな悩みを抱える人が少なくありません。高齢化が進む日本で推定1400万人の難聴者、補聴器が必要とみられる対象者は820万人と伺っております。単純に紀宝町の人口に推計すると、紀宝町内では800人程度がおられるのではないかと思います。今や加齢難聴は隠れた社会問題と考えますが、紀宝町でもそういう支援ができないか伺います。

健康福祉担当理事
現在、聴覚障がいにより身体障がい者手帳を有する方を対象に、購入価格の1割負担により購入できる国の補装具費支給制度があります。議員ご指摘の加齢性難聴につきましては、国、県の状況等を見ながら検討させていただきたいと思います。

議員
人材育成について、当地方に土木建設等の専門学校がなくなり、町内業者の方から人手不足、人材不足、さらに後継者不足で、先行き不安でならないという声を伺っております。当地方の木本高校や紀南高校においても土木建設、またさらに福祉等の専門コースを設けることができないか。

教育長

土木・建設等の分野におきまして、社会貢献できる人材育成をということでございますけども、必要性は十分感じております。この紀南地域、現在県立高等学校2校ございますが、子どもの数が減少し、2校の存続そのものが問われている状況であります。そういった状況のなかで、土木・建設関係のコースの新設を行うということは大変厳しい状況にあると考えるところであります。今後も引き続き、そういった必要性について県のほうへ意見をしていきたいと考えております。

議員
若者の新規企業支援について伺います。現在、町で新規に起業をする場合に、どのようなかたちの支援があるのか伺います。

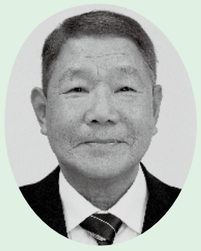
産業振興課長
町では、平成27年に創業支援等計画を作成し、紀宝町商工会、地元金融機関等と連携を図る中で、創業支援を行っております。紀宝町では平成28年度から空き店舗再生事業費補助金を創設し、これまで3名の方がこの事業を活用し起業されております。この事業は、町に空き店舗として登録をいただいた店舗を活用して起業された方に、改修費用、及び、一年間の家賃の一部を補助するものであり、この事業を利用していただきますように広くPRをし、創業へのきっかけとなるよう努めてまいりたいと考えております。

議員
今後、空き家を改造した場合でも適用されるようにお願いします。

学校施設の空調設備

議員
学校施設について、用務員室にも空調を随時検討していくということですが、その後は。

教育課長
現在、まず児童生徒の熱中症対策を主な目的として、国の冷房設備対応臨時特例交付金を活用し、紀宝町内全小中学校へ空調設備設置工事を実施しているところであります。各学校とも、計画しておりました夏休み期間中における主要な工事は完了しており、本年9月30日の工期までには全ての工事が完了する予定であります。今回の空調設備の設置箇所につきましては、児童生徒が学校で大半の時間を過ごす普通教室と、他の教室への音漏れ防止等の観点から閉鎖して使用し室温が上がりやすい音楽室を優先して整備しております。議員ご指摘の用務員室等に空調設備を設置していくことにつきましては、未設置の学校もありますので、働く環境の向上を図っていくことを含めて、引き続き整備の検討を進めてまいりたいと考えてます。



消費税増税に伴う住民サービス

野田　純志　議員

・消費税増税に伴う、住民サービスの充実について

議員
10月には、消費税が増税されます。これには日常生活用品購買の軽減税率とか、カード支払いでつくポイント還元等ありますけども、基本的には、8％から10％の増税になります。この数字は2％増という数字ですが、徴収する国側からすると、25％の増収となります。国はこれら増収分は、主に子育てなどの福祉施策を充実させ、国民生活の環境改善などに使用すると公言しております。

町としての保育・高齢者・障がい者などの福祉施策に対する現状と、今後の取り組みについて伺います。

健康福祉担当理事
福祉課関係でございますが、子ども子育て支援施策の充実としまして、保育所園児3歳児から5歳児の保育料が無償化されます。これまでは、3歳児から5歳児については、世帯の所得16階層により、0円から2万8千円の保育料を頂いておりました。また、給食費については、主食であるご飯は現物持参し、副食費はおかず等は保育料の一部として負担頂いておりました。10月以降は、保育料は無償化され、給食費については、従来どおり、負担することが原則となりますので、主食費は現物持参、副食費については、食材料費4300円が保護者負担になります。ただし、年収360万円未満相当世帯の子ども、及びすべての世帯の第3子以降の子ども、対象が小学校就学前の子どもに限定されますが、その子どもは副食費が免除となり、主食のみ現物持参となります。対象者につきましては、3歳児から5歳児215名となります。また、0歳から2歳児については、非課税世帯を除き無償化の対象外であり、保育認定外を超える朝7時30分から8時30分、夕方16時30分から18時30分、土曜の12時から17時の保育については、所得階層区分により月額0円から2千円の徴収負担となります。次に、障害児通所施設に通園する3歳児から5歳児の利用負担額が無償化されます。対象者につきまして

は、障がいのある未就学の子ども達が通園・入所する児童発達支援施設等を利用する3歳児から5歳児が対象で、紀宝町の方が利用する児童発達支援施設通園めだかを利用する方6名が対象者となっております。利用負担額につきましては、月額負担上限額を定めており、1月の利用した負担上限を世帯の課税状況により、生活保護世帯は0円、低所得者である市町村民税非課税世帯は0円、一般1では市町村民税課税世帯所得28万円未満が4千6百円、一般2では市町村民課税世帯所得28万円以上が3万7千2百円の4階層で負担額を定めております。10月以降は利用者負担上限額が無償化され、紀宝町の対象者は、月額上限負担額4千6百円が対象者で全て無料となります。ただし、給食にかかる副食費につきましては、幼稚園、保育所と同様、食材料費として、1日200円を負担いただくことになっております。

次に、低所得者と子育て世帯の消費への影響緩和と地域における消費の喚起・下支えを目的に、プレミアム付商品券事業を行います。対象者は、令和元年度住民税非課税者、ただし住民税課税者と生計同一の配偶者・扶養親族、生活保護者等を除く、低所得者と3歳未満の子を養育する世帯の世帯主が対象となりまして、低所得者2千5百名、子育て世帯250名が対象となっております。プレミアム付商品券につきましては、対象者1人当たり、1口4千円で利用可能額5千円が利用できる500円券10枚1組単位の物が最大5口、最高2万円購入で2万5千円分が利用できるお得な商品券となっております。ただし、1枚当たりの商品券は額面500円ですが、500円未満の利用については、お釣りがでないことになっております。商品券の利用できる事業者につきましては、9月10日現在77業者に登録頂いており、今後も利用できる店舗の確保を図ってまいります。商品券購入の為の引換券の発行につきましては、9月13日より低所得者と子育て世帯の対象者550人に対して、引換券の送付を行いました。商品券の販売については、9月17日から役場及び町内21カ所で出張販売を行うとともに移動支所での対応も行います。10月1日から本格的に利用開始が始まりますが、利用期限である来年2月末まで、今後も引き続き、プレミアム付商品券対象者には、できるだけ多くの方に活用できるよう周知を行い、利用いただけるよう努めていきたいと考えております。

議員　平成30年度分の税収総額は60兆5千564億円と聞いております。そのうち消費税分は17兆6千809億円。これは総税収からしますと、29パーセントにあたります。この29％が今回この総金額の、単純計算ですが25％の増収となります。税の先取りというわけでもないんですが、そういったことで町民の生活向上の実現、それには他の自治体よりも優れた計画性のある具体的なプロジェクトを企画、実行していくことがよろしいかと思います。これは紀宝町はできると思います。と言いますのは、他の自治体から賞賛を得ている災害時のタイムラインの計画性と実現によって、すでに実証をされているところであります。私はそういったことを先んじてやっていくことを念じております。

榎本　健治　議員

・近畿自動車道紀勢線（新宮紀宝道路）について
・国民健康保険料の県内統一について
他

新宮紀宝道路

議員　平成25年に新規事業化され工事が進むなかで、現状と今後のスケジュールは。

産業基盤整備担当理事　用地交渉の進捗としましては、地権者の皆様の多大なご理解とご協力を頂くなか、8月30日現在の契約状況は、250筆中、242筆、96・8％の進捗であります。また工事の進捗としましては、現在紀宝町域において、橋脚3基の工事を施工準備中と伺っております。

議員　鵜殿西遺跡の発掘調査の状況は。

教育課長　三重県埋蔵文化センターからの報告によりますと、今年度約1万7200㎡の調査対象範囲のうち、5千52㎡の掘削調査を実施し、現時点で1680㎡の調査が完了していると伺っております。

議員　長いスパンで見た場合、残った代替地と若者定住の関連性をどのように考えているのか。

企画調整課長　代替地は、現在29区画が残っている状況となっており、議員ご提案の代替地を若者定住対策としての活用については、若者にこだわらず定住対策など、幅広く検討してまいりたいと考えております。

議員　紀宝町は固定資産税の優遇

や、浄化槽も40歳未満は補助がでるという特典があり、セットで若者定住を進めて頂きたい。

国民健康保険料の県内統一

議員　国民健康保険料の県内統一に伴い、当町においても財政的に厳しい状況のなか、保険者努力支援制度などに向けての当町の取組は。

健康福祉担当理事　保険者努力支援制度は、医療費給付の削減に向けて、疾病予防など項目を設定し、評価点数によって交付金が支給される制度となっており、今後は、医療費の適正化や医療給付費の削減に向けた特定健診の受診率向上や糖尿病の重症化予防、保険税の収納率の向上等に取り組んでまいります。またこの国保財政の県一元化に伴う歳入の不足分については、一般会計から法定外の繰入を行うなど、赤字解消に取り組んで行く必要がございます。

議員　身近な地域で質の高い医療や介護サービスが受けられるようにするべきで、保険料は上がるが、医療サービスは受けられないといったことがないように努力していただきたい。

全国学力・学習状況調査

議員　学力・学習状況調査は、決して競争を煽るものではなく、子ども達の抱える課題を把握し、それをしっかりと改善する方策を立てるために実施しておりますが、改めて紀宝町の現状と課題は。

教育長　調査結果から見える本町の現状につきましては、小学6年の国語が64ポイント、中学3年の数学が61ポイント、中学3年の英語が58ポイント、計3教科において全国平均を上回る結果が出ております。子ども達がよく考え、粘り強く問題に取り組む姿勢が、年々育ってきている。また課題としては、文の読み取り、内容や情報の整理、表現する、伝える力に課題が見られます。

議員　紀宝町の学力向上に、毎年上位にいる姉妹町の石川県中能登町との連携が、私は大きく寄与していると考えますが。

教育長　中能登町の先進的な取り組みから得た授業のやり方なども、授業の改善につながった要因の一つであると考えております。

チャイルドシート助成

議員　チャイルドシートは新生児、乳幼児、幼児用、学童用があり、子どもの成長過程に応じて複数回購入助成ができないか。

健康福祉担当理事　ご指摘の成長過程における助成制度でございますが、現在1万円を上限とし、1回の助成としています。今後、購入価格等の内容も含め検討させて頂きたいと思っております。

議員　主食代は1食20円で、月4週として20日間と考えると、400円の負担になります

保育所

議員　保育所では、0歳から2歳までは主食を提供して頂いているが、3歳から5歳は主食を現物持参してくださいとなっている。この3歳から5歳についても保育所内で炊いて頂けないか。

健康福祉担当理事　保育所の状況としましては319人の園児数がおり、うち3歳から5歳の保育園児は215名おります。現在の設備や職員の部分が課題になってくるため、検討してまいりたいと思います。

議員　お誕生日会の時は、全部ご飯を保育所で炊いて頂いていますが、現在の能力でも炊けるのではないか。

健康福祉担当理事　お誕生日会は、職員を別途動員して主食を炊いて頂いております。

議員　主食代は1食20円で、月4週として20日間と考えると、400円の負担になりますが、朝の忙しい時間帯を考えると、保護者に対しての子育て支援になると思いますが。

健康福祉担当理事　ご提言いただいた貴重なご意見については、今後検討させて頂きたいと思います。

議員　20円の主食代の負担で、保育所で炊いて頂けることは大変ありがたい。これから建設予定の鵜殿保育所は、炊事スペースも確保しながら、設計を進めて頂きたい。

健康福祉担当理事　今後、施設の増築・新築につきましては、議員ご指摘のとおり、その部分も考慮にいれたなかで調理室、厨房等の検討をしてまいります。

議員　今後、この主食の部分で、幼稚園の4歳から5歳と保育所の4歳から5歳に差異があるということに対して、少し認識を強く持って施策に展開を頂きたい。

グループホーム

であります。また法面が崩落した原因につきましては、他の被災箇所と同様に記録的な豪雨によるものと考えております。

議員
法面の崩落がなぜ起こったのか。学校の環境として、そういうことが起こらないようにするのが、やはり私たち議会もそうですし、当局や教育委員会の仕事ではないかなと思っています。崩壊した原因は何であったのか、どのような地質であったのか。

教育課長
先ほども答弁させて頂きましたが、法面の土質については岩盤・土砂等で、崩落した原因につきましては、他の被災箇所と同様に記録的な豪雨によるものと考えております。

議員
記録的な豪雨でも、崩落していないところもあるんで、私は地質的に原因があるんじゃないかなと思っています。その点については、今後そういうことが起こらないよう、きちんと調査されているのかお聞きします。

教育課長
平成23年台風第12号は、時間雨量が１００㎜を超える記録的な豪雨となり、河川の氾濫や土砂崩れなどを多数発生させ、当町においても甚大な被害をもたらしました。当時の議会等におきまして、被害状況はご報告しておりますが、町内では大規模な山林崩壊や土石流により大きく被災した地区もある中で、矢渕中学校の北側法面において、モルタル吹付をしていた法面の一部が崩落し、土砂が約50㎡堆積する被害となりました。法面の土質については岩盤・土砂等

矢渕中学校の防災

議員
近年は思いもよらない災害が全国あちこち、また世界でも起こっている状況です。８年前の台風12号では、矢渕中学校の裏山が崩壊しており、崩落した原因は何であったのか、どのような地質であったのか。当町の町づくりの理念は、命が一番、子どもは宝という観点から、矢渕中学校をどのように考えられているのかお聞きします。

教育課長
平成23年台風第12号は、時間雨量が１００㎜を超える記録的な豪雨となり、河川の氾濫や土砂崩れなどを多数発生させ、当町においても甚大な被害をもたらしました。当時の議会等におきまして、被害状況はご報告しておりますが、町内では大規模な山林崩壊や土石流により大きく被災した地区もある中で、矢渕中学校の北側法面において、モルタル吹付をしていた法面の一部が崩落し、土砂が約50㎡堆積する被害となりました。法面の土質については岩盤・土砂等

１０００㎜を超える場所、また一部の地域では２０００㎜を超える場所もあり、記録的な豪雨ということであります。国土交通省が作成しました紀伊半島大水害、災害対応の記録では、台風第12号による豪雨等の影響で、地盤が緩み、紀伊半島の各地で土石流、地滑り、崖崩れ等の土砂災害が発生し、奈良県、和歌山県、三重県におきましては航空写真、判読等により、崩落・崩壊箇所を読み取ったところは約３千箇所にものぼるというふうにも言われております。また崩落・崩壊土砂量につきましても約１億立方メートルと推定されるということで、当時、被災直後に町職員が災害調査を実施いたしましたところ、矢渕中学校の北側法面の一部が崩落したということを確認してございます。そのあとすぐに、崩落箇所を対応するために、２次災害防止も含めてですね、この矢渕中学校校舎裏の土砂撤去及び防護柵設置工事をし、対応をしております。その後は被災箇所の復旧工法について専門の業者にも委託しながら、安全性がより高くなるフ

リーフレーム工法を採用し、この内容につきましては、国のほうに災害査定の申請も行い、国の承認を受けたなかで事業を実施しております。

議員
私が、なぜこのような質問をしてるかと言いますと、教職員と生徒を含めて３００名近くが日常的にいます。台風の時は、警報が出たら下校させると思うんですが、近いうちに揺れるんじゃないかと言われている南海・東南海地震等につきましては、そこで授業をしていると、まともに影響を受けるんじゃないかと思うんです。校舎もかなり年数が経って50年近くになり、そこへまた５億円以上のお金をかけて直せば、もっと長い間、そこで義務教育の子ども達が学びなければいけなくなります。私が今教えてほしいのはその地質がどういうふうになっているのか。調査したんなら、やはりきちんと公開して、こういう状況であるということを知っていただくべきだと思うんです。

教育課長
土砂災害防止法にかかる調査結果につきましては、三重県の

平野　美津子　議員

・矢渕中学校の防災について

ほうで説明がされ、周知されております。また紀宝町の総務課防災室からは、調査結果に基づいて防災マップ等により掲示され、町内全戸に配布され周知しております。また矢渕中学校では、学校単独の防災避難訓練や地元の皆様との共同による防災避難訓練行い、大規模地震等の災害発生時を想定して学校やその周辺、及び通学の途中でも避難場所が選択できるように実際に地域住民の皆様と高台へ避難する訓練を行うなど、地域住民と一体となった取組を行っております。臨機応変に対応できるよう、子ども達にもそういった指導を行っております。

議員
そんな状況で、そこへまた予算を5億以上つぎ込んで修復していく。その考え方自体に、私は疑義を感じるんですね。本当に子どもが宝で、それで命が一番やったら、生徒達のことを考えた時に、やはりもっと真剣に、命のことを考えてもらわないといけないと思うんです。

教育課長
今後、矢渕中学校の大規模改修工事につきましては、建物の状況調査などを実施し、一定の改修内容等をまとめた段階で、学校運営協議会などの地域関係者や議会の皆様のご意見を頂きながら、基本構想案を策定してまいりたいと思います。その中で、校舎裏山の調査についても、現在整備しているフリーフレーム工法の整備箇所、また三重県が実施している県単治山の整備箇所も含めて、今後どのような対応が必要か検討してまいります。

※この他に「矢渕中学校の修学旅行が、来年は沖縄に決まったアンケートについて」「財政的にも安心できるまちづくりについて」の質問がありました。

□本会議の傍聴をしてみませんか。

本会議では、町民の皆様の生活に関わる重要な問題について、熱い議論が交わされています。
町政への理解を深めていただくためにも、皆様の傍聴をお待ちしております。

■本会議の傍聴
本会議の議事の公開の原則により、会議中どなたでも傍聴できます。

■傍聴の手続き
１：役場本庁舎３階の議会事務局で受付を行ってください。
　　先着順により受け付けています。傍聴席は４０席ございます。
２：議場の入退室は、会議中でも自由にできます。

■ご注意
言論に対して拍手、その他の方法により可否を表明しないでください。飲食または喫煙をしないでください。
携帯電話の電源はお切りください。写真、ビデオで撮影したり、録音しないでください。

●お問い合わせは紀宝町議会事務局まで（☎０７３５－３３－０３４２）

議員
障がいのある人の自立を支援するため、共同生活援助（グループホーム）等の整備に向けた支援を行うとともに、グループホームの設置に向けて今後の見通しは。

健康福祉担当理事
現在、紀南圏域では介護サービス、包括グループホームが、熊野市に３事業所あり、定員53名という状況です。今後も引き続き、社会福祉法人等への働きかけなども含め、整備・拡充に向け推進していきたいと考えております。

■次回定例会の予定

12月17日（火）開会予定です。
傍聴は議会事務局で受付ています。

■議会生中継について

公共施設4ヶ所のロビー等において、町議会本会議の模様を生中継していますので、議会日程をご確認のうえ、ぜひご覧ください。

①役場本庁舎
②生涯学習センターまなびの郷
③福祉センター（鵜殿）
④相野谷診療所

※放映時間については、当該施設開館時間内となりますので、ご了承ください。

■インターネット録画中継について

町議会では開かれた議会を目指して、平成23年6月定例会分からインターネットによる録画中継を実施しております。映像をご覧頂くには、
◎紀宝町ホームページ→「町議会情報」→「インターネット議会中継」をクリック

可決された議案（9月）

- 紀宝町職員の給与に関する条例の一部改正について
- 紀宝町職員の旅費に関する条例の一部改正について
- 紀宝町消防団条例の一部改正について
- 紀宝町税条例の一部改正について
- 紀宝町半島振興対策実施地域における固定資産税の特例措置に関する条例の一部改正について
- 紀宝町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について
- 紀宝町営浄化槽整備推進事業に関する条例の一部改正について
- 紀宝町水道事業給水条例の一部改正について
- 紀宝町水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正について
- 紀宝町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について
- 紀宝町子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の一部改正について
- 紀宝町立幼稚園条例の一部改正について
- 紀宝町立幼稚園預かり保育条例の一部改正について
- 令和元年度 紀宝町一般会計補正予算（第2号）
- 令和元年度 紀宝町診療所事業特別会計補正予算（第2号）
- 令和元年度 紀宝町水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 平成30年度決算の認定
  - 一般会計歳入歳出決算
  - 国民健康保険特別会計歳入歳出決算
  - 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
  - 紀宝町診療所事業特別会計歳入歳出決算
  - 井内地域開発事業特別会計歳入歳出決算
  - 町営浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算
  - 水道事業特別会計決算
- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- 工事請負契約の締結（紀宝町防災行政無線（移動系）デジタル化更新工事）

編集後記

このたよりが届く頃には、師走の声が聞こえてくると思います。この1年を振り返りますと、まず元号が平成から令和、また消費税が10月1日から10パーセントになり、新たな制度として軽減税率の措置がとられました。町内では、大正から4つの元号を跨いでこられた方が11名おり、戦前から激動の時代を生き抜いてこられたことと思います。次に、近年気温上昇等により、大型で強い勢力の台風が大きな被害をもたらしました。台風19号では、東海から東北を中心に広い範囲で記録的な大雨や暴風、高潮となり、複数の河川が氾濫するなど列島に大きな爪痕を残し、多くの方が亡くなられましたことにつきましては、お悔やみ申し上げます。また、自宅が被害に遭い、現在も避難所生活をされてる方がたくさんおられることにつきましても、1日も早い復旧・復興を願います。（文責　奥峪）

「議会だより」（50号）
編集委員　大倉　孝司
　　原　　章三
　　奥峪　康之

自然保護のため、この議会だよりは再生紙および
石油系成分の少ない植物油性インキを使用しています。